



長崎県農林技術開発センター

Nagasaki Agriculture and Forestry
Technical Development Center

要 覧 OUTLINE



本所（諫早市）



果樹・茶研究部門（大村市）



畜産研究部門（島原市）



思索の道



中山間営農研究室（雲仙市）



干拓営農研究室（諫早市）



茶業研究室（東彼杵町）

概要 Overview

■ 基本理念

次代につなげる魅力ある農林業と活力ある農山村を実現する生産から消費にいたる革新的な農林業技術の開発

■ 重点テーマ

- 地球温暖化に対応した品種の育成や安定生産技術、病害虫管理技術の開発
- スマート農業林業等生産性や品質を向上させる生産技術の開発およびオリジナル品種の育成
- 機能性等に着目した高付加価値商品の開発や素材となる農作物の育種技術、栽培技術の開発
- 中山間・離島に対応した営農体系の確立および環境保全型農業技術の開発

■ 位置図



■ 沿革

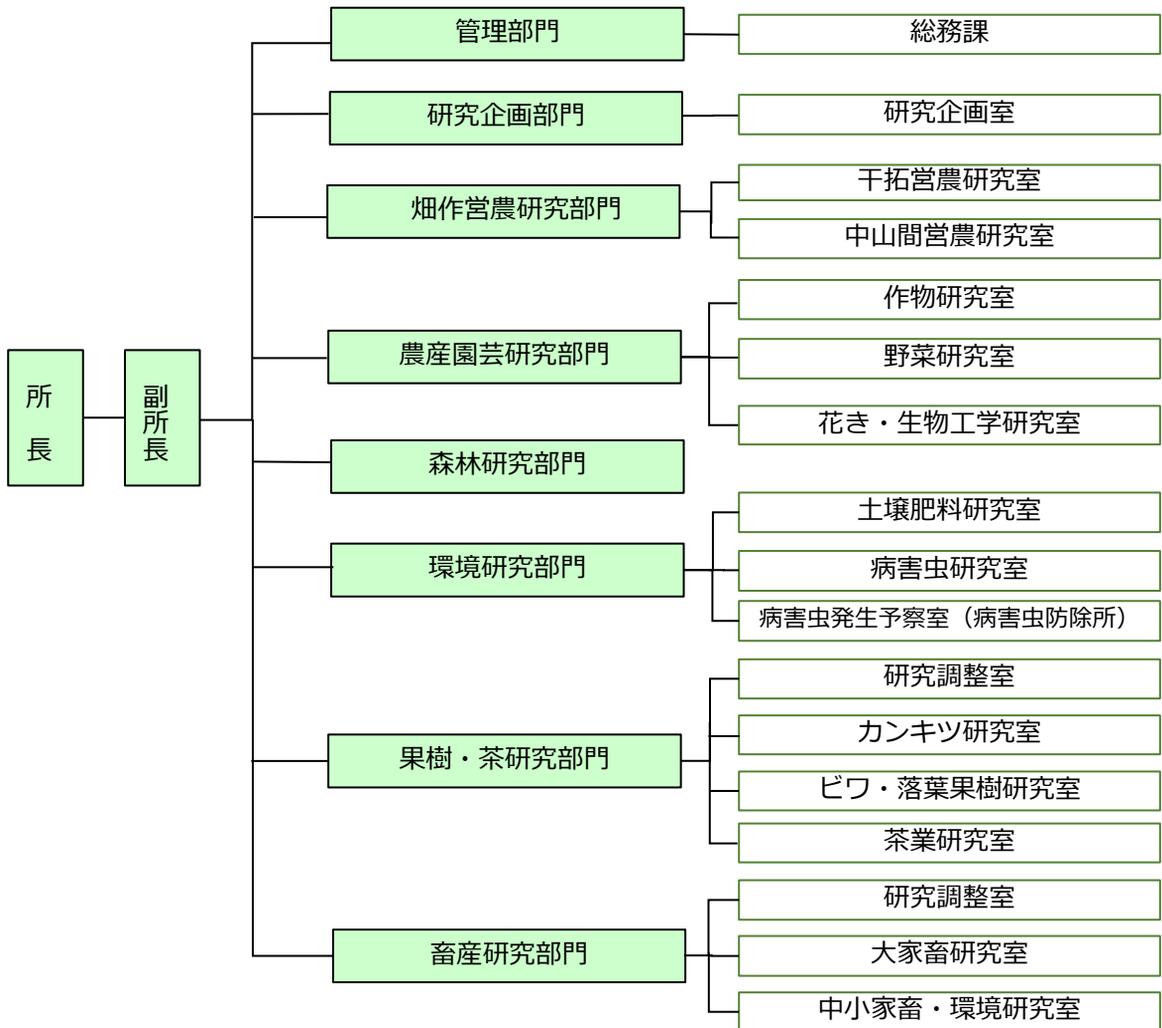
1898年	明治31年	長崎県立農事試験場を長崎市中川町に設置
1920年	大正 9年	諫早市永昌町に移転
1929年	昭和 4年	茶業部を東彼杵町に設置
1950年	昭和25年	長崎県農業試験場に改称
1951年	昭和26年	愛野試験地を愛野町に設置
1954年	昭和29年	大村園芸分場を大村市に設置
1961年	昭和36年	長崎県総合農林センターとして現在地に移転
1971年	昭和46年	長崎県総合農林試験場に改称
1972年	昭和47年	果樹試験場（大村市）が独立
1973年	昭和48年	畜産試験場（有明町）が独立
2003年	平成15年	県内 7 試験研究機関を統括する政策調整局の所管
2006年	平成18年	新設の科学技術振興局の所管
2009年	平成21年	3 試験場を統合再編し、長崎県農林技術開発センターに改称
2011年	平成23年	科学技術振興局の再編により農林部へ移管
2021年	令和3年	干拓営農研究部門と馬鈴薯研究室が統合し、畑作営農研究部門となる。また、病害虫防除所を統合し、病害虫発生予察室となる。

■ 敷地面積

6か所合計 12,734a

組織 Organization

組織体制



職員数

(単位：人、令和6年4月1日現在)

部門名	事務	研究	技術	現業	小計	任用 (現業・非現業)	合計
所長		1			1		1
管理部門	10				10	5	15
研究企画部門		5			5	1	6
畑作営農研究部門		11		3	14	3	17
農産園芸研究部門		17		6	23	7	30
森林研究部門		7		3	10		10
環境研究部門		10	7	1	18	1	19
果樹・茶研究部門	1	16		4	21	4	25
畜産研究部門	2	13		15	30	16	46
合計	13	80	7	32	132	37	169

各部門の概要 Introduction of Each Unit

管理部門

主な業務

- 庶務及び公有財産、農林資料館の管理
- 予算、決算及び物品の管理



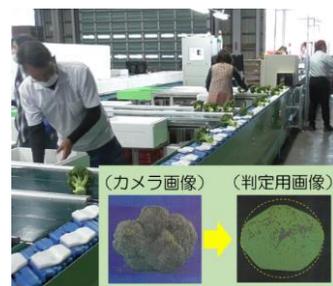
研究企画部門

主な業務

- 試験研究の総合企画、調整及び研究職員の資質向上
- 研究成果の普及促進、広報活動及び気象観測
- 地域農業振興と農業経営改善のための調査研究



公開イベント

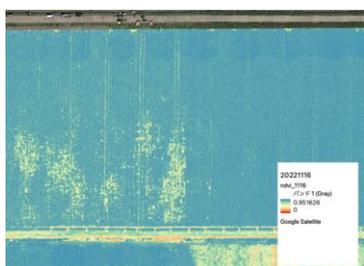


AI選果システムの開発・実証

畑作営農研究部門

主な業務

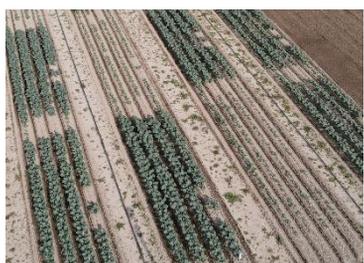
- 露地野菜・バレイショのスマート農業技術、省力作業及び安定生産技術の開発
- 諫早湾干拓地における大規模環境保全型農業技術の開発
- 病害虫に強く多収性のバレイショ新品種の育成と栽培・防除技術の開発
- 平坦地や中山間地における主要露地野菜・バレイショの営農体系の確立



大規模圃場での農作物の生育状況を把握する技術の開発 (NDVI値)



ドローン等航空防除用農薬の登録促進、防除体系の確立



干拓地での大規模環境保全型施肥技術の開発



多収で早期肥大性のバレイショ品種「アイマサリ」

農産園芸研究部門

主な業務

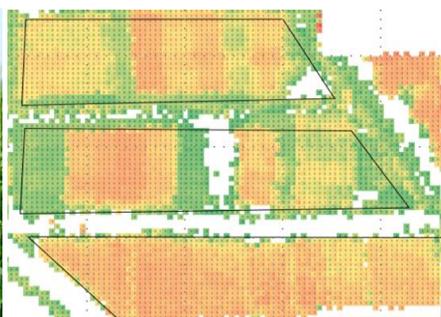
- 稲・麦等の品種選定と育成
- 稲・麦等の省力・安定・高品質栽培技術の開発
- イチゴ・花きのオリジナル品種育成
- 施設野菜・施設花きの高品質・安定生産技術の開発
- バイオテクノロジーによる農産物の品種育成



高温耐性に優れる水稲早生品種として奨励品種に採用された「なつほのか」



長崎ちゃんぼん用として開発された小麦「長崎W2号」



リモートセンシングで測定したNDVI値による水稲生育診断技術の開発



長崎オリジナルイチゴ品種の育成



イチゴとミニトマトの環境制御技術の開発



AIを活用した輪ギクの自動栽培システムの開発



カーネーション萎凋細菌病抵抗性品種「ひめかれん」



病虫害抵抗性DNAマーカー検定技術の開発

森林研究部門

主な業務

- 低コスト育林に関する試験研究
- スマート林業の実践に関する研究
- 森林獣害防除技術の改善及び開発
- 木質資源の利用・加工及びシイタケ、ツバキ等特用林産物の栽培技術の開発



ツバキ林育成技術の開発



ヒノキ特定母樹採種園（R4設定）



雲仙普賢岳の地形解析



シカ被害からの森林の保全

環境研究部門

主な業務

- 環境保全型農業に関する試験研究
- 土壌の調査、地力の維持増進技術の開発
- 水稲・野菜の効率的低コスト施肥技術の開発
- 農作物病害虫の生態解明と制御技術の開発
- 総合的病害虫管理技術（IPM）の開発
- 病害虫の発生予察、重要病害虫侵入警戒調査
- 薬剤耐性菌・薬剤抵抗性の検定



土壌データ検索システムの開発



天敵を利用した害虫管理技術の開発



病害虫発生予察技術の開発



ヒメトビウカ越冬量調査

各部門の概要 Introduction of Each Unit

果樹・茶研究部門

主な業務

- ビワ、カンキツ新品種の育成
- AI品質予測による高品質果実生産技術の開発
- 省力・低コスト生産技術の開発
- 環境に配慮した施肥、病害虫管理技術の開発
- 茶葉を利用した機能性食品の開発
- スマート農業技術の開発と現地実証



大果で良食味のビワ品種
「なつたより」



長崎県オリジナル品種
「長崎果研させぼ1号」



高精度プレ選果システム
の開発



臨床試験により機能が確認
されたビワ発酵茶

畜産研究部門

主な業務

- 乳用牛・肉用牛・豚・鶏の飼養管理技術の開発
- バイオテクノロジー等新技術の開発
- 長崎ブランド畜産物等品質向上技術の開発
- 飼料作物・草地関連技術の開発
- 未利用資源の活用、環境技術の開発



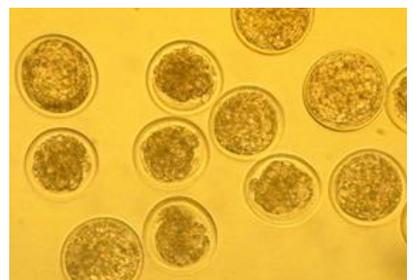
長崎型代謝プロフィールテストを活用
した牛群定期健診システムの確立



肥育前期の粗飼料採食性向上
による長崎和牛の品質向上



離乳豚の事故率低減に向けた
技術の開発



受精卵移植の受胎率を改善できる
技術の開発

所在地 Location

部門名		室名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX	
長崎県農林技術開発センター					0957-26-3330		
管理部門	総務課	854-0063	諫早市貝津町3118		0957-26-4062 0957-26-4295	0957-26-9197	
研究企画部門	研究企画室				0957-26-4328		
畑作営農研究部門	干拓営農研究室	854-0038	諫早市中央干拓131		0957-35-1272	0957-35-1273	
	中山間営農研究室	854-0302	雲仙市愛野町乙2777		0957-36-0043	0957-36-2697	
農産園芸研究部門	作物研究室	854-0063	諫早市貝津町3118		0957-26-4350	0957-26-9197	
	野菜研究室				0957-26-4318		
	花き・生物工学研究室				0957-26-4319 0957-26-4326		
森林研究部門					0957-26-4292 0957-26-4293	0957-26-9197	
環境研究部門	土壌肥料研究室				0957-26-4381		
	病害虫研究室				0957-26-4413		
	病害虫発生予察室	854-0062	諫早市小船越町3170		0957-26-0027	0957-25-1299	
果樹・茶研究部門	研究調整室	856-0021	大村市鬼橋町1370		0957-55-8740 0957-55-7904	0957-55-6716	
	カンキツ研究室						
	ビワ・落葉果樹研究室						
	茶業研究室	859-3801	東彼杵郡東彼杵町中尾郷1414		0957-46-0033	0957-46-0875	
畜産研究部門	研究調整室	859-1404	島原市有明町湯江丁3600		0957-68-1135	0957-68-1138	
	大家畜研究室						
	中小家畜・環境研究室						

【長崎県農林業の概要】

- 立地条件 島嶼（県土の46%）や半島から成り、耕地は急傾斜地が多く、複雑な地形となっている
- 気候 年平均気温は16～17.5℃、年間降水量は約2,000mmと温暖多雨な気候
- 農家戸数 総農家数は28,282戸。販売農家は17,329戸で総農家の61%
また、主業経営体は5,524。農業経営体（個人）17,500の32%
- 農業産出額 令和4年の農業産出額は1,504億円で全国23位
品目別順位は肉用牛、豚、いちご、ばれいしょ、みかん、米の順
- 森林面積 242千haで総土地面積の59%を占め、人工林面積は104千ha
- 林業産出額 令和4年の林業産出額は66.2億円で、うちきのご類は45億円、木材生産16億円



長崎県農林技術開発センターwebサイト